

た の

ね

楽

し

い

音

!

今日は『わらべうた』について、ご紹介します。

『わらべうた』と聞くと、「一昔前の感じ」がしたり、「小さな子供向け」と思ったりする人もいるかもしれません。

現代は、核家族化、生活様式の多様化に加え、今般の事情（コロナウイルス感染拡大予防対策として「STAY HOME」や「〇〇自粛」）のように、人との“つながり”や“関わり”が希薄になっていると、私は感じます。だからこそ、人の声と声のつながり（安心感）やスキンシップ（温もり）の大切さが求められているのではないのでしょうか。ただし“三密”を避けて取り組むことは難しいので、友達と遊ぶ時には、今般の情勢が落ち着いてからにしましょう。

その（声や温もりなどの）【つながり】を大切にしている『わらべうた』について、以下のような紹介がされています。（日本全国のわらべうたに関わっている保育園・幼稚園、それらの協会が掲げている紹介文を記します。）

立川市立大山小学校
音楽科通信 第10号
令和2年5月19日
音楽科 大野 智子

- 日本民族の伝承
- 親子の温もりをもち、日本人の魂に染み込んでいるうた
- 子供が心地よいと感じるリズムに、きれいな日本語を乗せて、昔から歌い継がれてきた
- 体と脳の発達を促し、子供とのコミュニケーション（声とスキンシップ）にも役立つ
- 遊びながら歌う、昔から伝えられ、歌い継がれてきたうた
- 長い年月をかけて、歌い継がれてきたうた
- 日本語の美しいリズムと抑揚を大切に、メロディー（うたの旋律）と言葉のリズムが一体になっている



ここから分かることは、

メリット

- ・ 子供が聴き取りやすく、歌いやすい（限られた音程で歌える）
- ・ 肉声なので、温かみがある（子供は、人間の声に快く反応し、気持ちも安定する）
- ・ スキンシップを図ることができる（親子の情緒的結び付きを深め、よりよい関係を育む）
- ・ 約束ごと（ルールを守る、協力するなど）や生活に合った歌が多い

デメリット

- ・ 人権的配慮が必要
→ 体をつかった表現が多かったり、地域や世代によって歌詞の内容に補足が必要だったりする。

昨年度の授業で、現2年生はクラス全員で「わらべうた」に親しまいました。現3年生は、調べ学習を通して、配慮しなければならないこと、教科書に掲載されていない曲への挑戦など、さらに理解を深めましたね。

「わらべうた」と聞くと、下学年“だけ”が楽しめそうな曲が多いように感じますが、上学年でも『人権』『遊び方』『伝承』等とキーワードを変えると、調べ学習にも発展します。ぜひ、どんな「わらべうた」があるのか、探してみませんか。

次に紹介する曲は、現3年生が調べ学習をした時に、板書した曲名です。中には、先に記述した通り、人権的配慮が必要な『わらべうた』もありました。ご家庭で取り組む際にも、ご配慮いただくと、子供達の【深い学び】にも繋がります。お手数をお掛けしますが、よろしくお願ひします。

♪は家族で、体を動かしながら遊びやすい曲です。(〇年生)は、教科書掲載学年です。



- | | |
|------------------|-------------------|
| • あがりめ さがりめ | • かいぐり かいぐり |
| ♪ あんたがた どこさ(2年生) | ♪ かごめ かごめ |
| • あぶくたった にえたった | ♪ くまさん くまさん |
| • いろはに こんぺいとう | • げんこつやまの たぬきさん |
| • いちばんぼし | • さよなら あんころもち |
| • いっぽんばし こちょこちょ | • さよなら さんかく |
| • いちり にり さんり | ♪ じゅうごやさんのもちつき |
| • うまは としとし | ♪ すいすいすっころばし(2年生) |
| • お寺の おしょうさん | ♪ だるまさん(にらめっこ) |
| ♪ おおなみ こなみ(1年生) | • ちょちちょちあわわ |
| ♪ おちた おちた | • でんでらりゅうば |
| ♪ おしくらまんじゅう | ♪ なべなべ そこぬけ(2年生) |
| ♪ おちゃらか(1年生) | ♪ はないちもんめ |
| ♪ おせんべ やけたかな | ♪ ひらいた ひらいた(1年生) |



他にも「手遊び歌」や「絵描き歌」などがあり、それらは『あそびうた』の1つです。

ぜひ、ご家族と一緒に『わらべうた』や『あそびうた』に取り組んでみませんか。気分転換の1つに、またはコミュニケーションの1つに、等と目的を変えて楽しむこともできます。